



新年会で 2017年活動計画の大枠決まる

1月14日(土)梅が丘カラオケ店「ああ星董派」で、代田九条の会新年会を開催。従来は、呼びかけ人・世話人で行ってききましたが、広く呼びかけ、参加者16人でした。梅丘にお住まいの俳優・高田敏江さんが飛び入り参加。高田さんは、「戦争時代に戻っているように感じる」長年俳優仲間で行っている「あの雲は忘れない」を、7月に高円寺で公演すること、飯田進著「鎮魂への道—BC級戦犯が問い続ける戦争」(岩波現代文庫)を紹介された。参加者の自己紹介を兼ねて、一言。幾つかを紹介すると、大学の同期が中国戦線で5人死亡した、上野公演に戦争孤児が大勢いたなど戦争当時の体験や、毎月19日行動に参加、科学者9条の会で「トランプ政権下の日米安保・経済」の講演会を計画、世田谷の野党共闘の動き、憲法審査会の実務者会議がいよいよ始動するなどの情勢の中で、9条を守る決意を新たに合した。

その後、ドキュメンタリー映画「いのちの森 高江」(謝名元慶福監督 語り 佐々木 愛)を観た。オスプレイに怯え、怒り、闘う高江の記録です。住民150人に対し、東京、大阪などから連日300人余の機動隊を動員し暴力的排除や暴言を吐いている。米軍退役軍人ベテランズ・ホーピースのメンバーも支援に駆けつけ、子どもを含む30人が裁判を起こしている。「いのち豊かなやんばるの森を守るのは、私たち人間の使命」という言葉が胸に残りました。

2017年活動計画

1. 私たちが住み、暮らし、働いている代田に日本国憲法9条を守り生かしていく為に、「九条の会」アピールの賛同者を広めます。憲法違反の安保法制(戦争法)廃止の世論を広げます。
2. 世話人事務局会議、ニュースの発行・配布は、これまで通り毎月一回行います。事務局員や配布体制を強化します。
3. つどいなどの企画

①大きなつどいは、これまでと同じく春と秋の2回取り組みます。

5月14日(日)「憲法記念日によせて」(案)

・講演:新垣 毅(琉球新報社東京支店・報道部長) ・文化企画:琉球舞踊「がじゅまる」

11月3日(金・休)「9周年のつどい」

・憲法9条、平和に関する講演と文化企画

②小規模の学習会・つどいなどの開催

1月14日(土)新年会・ドキュメンタリー映画「いのちの森 高江」上映

4月上旬(平日)横田基地見学 貸切バスで案内を現地平和委員会に依頼

8月11日(金・休)「終戦記念日によせて」

・戦争体験・被爆体験を語り継ぐ

・「はだしのゲン」などの上映

③ 財政

収入:つどいなどの参加費、募金、9条リングの販売など、

支出:講演料、出演料、会場費、紙代、切手代など

4. 世田谷・東京・全国の九条の会や憲法九条を守る団体と対等平等の立場で協力して活動を進めます。

*計画は、大枠ですので、つどいの企画や活動について、ご意見をお寄せ下さい。

(世話人会・事務局 小澤 清子)



話をする高田 敏江さん

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++

2017年 新年にあたって

呼びかけ人・事務局メンバー メッセージ

私は80代半ばで戦中派の端くれですが、世の中の大部分の人は、もう「戦争を知らない子どもたち」です。私達は、戦争中は「鬼畜米英」の教育を受けましたが、1946年新憲法が制定され、文部省の「あたらしい憲法のはなし」を学んだ。その、平和・民主・立憲主義に感激しました。しかし、その平和憲法を気に入らない人の支持率が6割ともいわれます。それが戦争を知らない世代のせいだとすれば、将来は絶望的です。しかし、「九条の会」に参加して、世代を問わず、この本質をしっかりと把握して行動する多くの人と接して将来に希望を見出しています。

野間口 至

憲法施行から70年の2017年初頭に思うこと
積極的平和主義とは、「戦争する国」に歩みを進めることですか

日本を世界の真ん中で輝かせるとは、戦前の日本に戻ることですか

南スーダンのPKO派遣は、血みどろの内戦状態にあるのに何故安全なのですか

高江のヘリパット建設は、沖縄県民の民意に反して強行しても国民主権と言えるのですか

米軍基地の思いやり予算は、国民の社会保障費を削ってまで行う必要があるのですか

米国の核の傘は、果たして安全な核なのですか

日米安保条約は、日本国憲法より優先されるものですか

安倍内閣での「憲法改正」は、国民の思いに応えるものになるのですか

疑問に思うことを話し合い、人と人との絆を繋ぎ輪を広げ、なによりも命が大切にされる社会めざし憲法を守り生かす年に！

小澤 清子

今年に

昨年の参院選、新潟及び鹿児島県知事選での、野党と市民の共闘は歴史に残る成果を生みだしました。戦争法反対、改憲反対や脱原発を求めて、本気で立ち上がった市民が、自らの力で勝ち取った結果です。

南スーダンにPKOで派遣された自衛隊が、憲法に違反する武力行使をする危険性が高まるなか、自衛隊の撤退と、非軍事の人道支援など平和憲法の実現を求めて、市民との連帯をひろげ、これまで以上に大きな運動をつくりたいと思います。私たちの住む代田から、大きな声をあげましょう。

坂本 功



二〇一六年は、あらゆる面で日本の未来、私たちの未来に対しての反動がはつきりしてきた年でもありません。ということは何をしなければならぬか、何を作り出さなければならぬかがはつきりしてきたとも言えます。粘り強く運動をしながらに続けていきましょう。芝居も頑張りますよ！

横川 功

世界中に不穏な空気が漂う 2017年が始まりました！

格差、貧困、差別など世界的な問題に加え、日本には改憲、基地、原発という問題もあります。問題が多すぎてどう行動すればいいのか混乱しています。

改憲に関しては日常的に話題に挙がることはほとんどありません。

そこで今年は生活の中に憲法がどう息づいているのか見極めたい思いがあります。

日暮 恵子

九条は日本の宝

世界の宝になる日が来るといいな

加藤 栄一

新年おめでとうございます

「憲法が国民投票」の話題も出てきている今、九条の会として何をするか

世界では経済問題が、米・トランプ体制や英・EU脱退など、先が見えない。

東京都・小池知事は、豊洲・五輪問題の解決ができるのか。

今年も大変な年になりそうですね。 岩瀬 薫

お問い合わせ：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。
また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。



岩瀬 薫

あけましておめでとうございます。
昨年夏、自民党の「憲法改正草案」をあらためて読み直しました。自民党草案は、「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」という日本国憲法の三大要素をことごとく破壊するものであり、近代民主主義の基礎である「立憲主義」を否定するものです。改憲勢力の策動を絶対に許してはいけないとの決意を新たにしました。

今年も皆さんと一緒に頑張りたいと思います。
俣野 景彦

あけましておめでとうございます。
今年は総選挙の年になるのでしょうか。去年は、市民と野党の共闘が大きく前進しましたが、今年はずっともっと大きな力になってほしい。憲法改悪を許さない、沖縄、TPP、原発、社会保障、働き方の問題等々、どうしても安倍政権にサヨナラしたい！と思っています。

萱野 幸子

「新葎新葎、今年也多多謝好」

私が19歳の時から8年の間在籍した「合唱団燎原」の同窓会が昨年10月23日、市川市の喫茶店で開かれた。名前からもわかるように、旧満州から引き揚げてきた人や華僑などで構成された合唱団。「文革」の荒波を乗り越えてきた人たちなので平均年齢は70代後半。今年も“生き抜く決意”を確認しあった、8人でした。
荒川 興道

今年、19日を中心とした戦争法反対の集会、今は「安倍政権NO！ 野党は共闘」集会というのかな？、これは美術関係の仲間にも、新しい人を誘ってできるだけでいきたい。そして身近な場でみんなの考えも聞き、つながっていきたい。選挙ではおごりの自民を減らし安倍さんの退陣を目指していきたい、と思っています。平和への一歩の年にしたい。
大橋 雅子

「戦争は三人居れば起こせる」政治家、軍人、財界人。芝居の稽古中に演出家がそういいました。日本もアメリカも揃っているような気がします。もし、そんなことになったら力のない自分だけけれど、つま楊枝一本の如きつかい棒で抵抗したいと思います。でも恐ろしい。
湯沢 勉

新年そうそう、安倍首相はオーストラリア、フィリピン、インドネシア、ベトナムを訪問した。どこの国とも、中国を念頭に置いて、南シナ海の問題を話し合った、という。結構なことかと思えば、対立をあおりかねない「海上行動での協力」などと「積極的平和主義」が垣間見える。ASEAN諸国は対話を中心として地域の問題を解決しようとしているのに、物騒なことだ。彼の行動の裏には「高支持率」があるように見える。憲法改悪、原発再稼働、TPP、社会保障のどの政策をとっても国民の側はむいていないように見えない。じっくり、しっかり、地域にねざして九条の会の活動を続けたい。
伊東 宏



Peace Night 9 —— 第 8 回集会「憲法 9 条で平和は守れるのか」

首都圏の 30 を越える大学・専門学校生で構成する「Peace Night 9」は、2007 年に結成されました。12 月 22 日の第 8 回目の集会に参加しようと、会場の東京大学駒場キャンパスに向かいました。

講師は、2004 年のイラク人質事件の当事者、現在イラク支援ボランティア。エイドワーカー（人道支援者）の「高遠菜穂子さん」。2008 年ノーベル物理学賞受賞の「益川敏英さん」のお二人でした。高遠菜穂子さんは、雪のため飛行機がとばず、画面を通してのお話でしたが、思い余って涙をみせながら、唇を噛みながら、早口になりすぎるほどの迫力でイラクでの現状を伝えてくださいました。日本は「極端な情報鎖国」だといいます。そして彼らに日本の憲法 9 条の話をして、イラクに自衛隊を派遣しているという事実の前では、せせら笑われてしまうのだそうです。私たちはもっともっと手段を工夫して、本当のことを知らなければなりません。

益川敏英さんは、学生との対談形式で、質問に答えながらお話してくださいました。

学生さんたちは、実によく準備し、最後のアピールでは、草の根の行動から、改憲勢力に対抗しようと呼びかけました。10 年の歴史を持つ「Peace Night 9」粘り強くいきましょう。（大原 2 丁目・森田 淑子）

「たたかひの旗印」 市民連合シンポジウムでの提起

12 月 21 日、安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合（市民連合）が開いたシンポジウムで、パネリストの皆さんが提起されたキャッチコピー——「たたかひの旗印」

- * 人間を大事にする。生命、尊厳を大事にする 山口 二郎（法政大教授）
- * 女性が本当の意味で活躍できることが少子化問題も貧困も解決する 大沢 真理（東大・社研教授）
- * 若者も活躍させてくれ、と言いたい。立憲野党はここを立脚点にしてほしい 諏訪原 健（筑波大・大学院生）
- * 私は団塊の世代。友人と会うと『こんな世の中つくるために俺たちやってきたのかな』と話す。次の世代に渡してよいのだろうか考える 山田 厚史（ジャーナリスト）

集 会 等 の 紹 介

19 日行動 【主催】戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会

2 月 19 日（日） 13:30～ 国会周辺で集会

（詳細は未定）

3 月 18 日（土） 午後

九条科学者の会シンポジウム

「トランプ政権下の日米安保・経済」（仮題）

（詳細は未定）

3 月 22 日（水） 九条の会東京連絡会 集会

講師：伊藤 千尋さん、池田 香代子さん、小森 陽一さん（仮）

（詳細は未定）



日本国憲法（抜粋）

前 文 日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。

日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。